

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・・購入時の取得価格によっている。(償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していません。)

(2) 固定資産の減価償却について

什器備品・・・・定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・・職員の退職給付にそなえるため、当期末における退職給付債務(期末自己都合要支給額)に基づき、当期発生していると認められる金額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	84,546,192	0	0	84,546,192
普通預金	1,453,808	0	0	1,453,808
小 計	86,000,000	0	0	86,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	11,152,877	1,691,442	0	12,844,319
安成弘記念事業積立資産	356,902	0	0	356,902
人材育成事業(重粒子線)積立資産	36,299,784	7,476	2,000,000	34,307,260
人材育成事業研修セミナー費用準備資金	2,000,000	0	1,000,000	1,000,000
財団設立20周年記念事業費用準備資金	1,000,000	1,000,000	0	2,000,000
小 計	50,809,563	2,698,918	3,000,000	50,508,481
合 計	136,809,563	2,698,918	3,000,000	136,508,481

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	84,546,192	(0)	(84,546,192)	(0)
普通預金	1,453,808	(0)	(1,453,808)	(0)
小 計	86,000,000	(0)	(86,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	12,844,319	(0)	(0)	(12,844,319)
安成弘記念事業積立資産	356,902	(356,902)	(0)	(0)
人材育成事業(重粒子線)積立資産	34,307,260	(34,307,260)	(0)	(0)
人材育成事業研修セミナー費用準備資金	1,000,000	(0)	(1,000,000)	(0)
財団設立20周年記念事業費用準備資金	2,000,000	(0)	(2,000,000)	(0)
小 計	50,508,481	(34,664,162)	(3,000,000)	(12,844,319)
合 計	136,508,481	34,664,162	89,000,000	12,844,319

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	16,249,210	8,844,738	7,404,472

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	取得価額	時価	評価損益
国 債	84,546,192	96,517,976	11,971,784
合 計	84,546,192	96,517,976	11,971,784

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 人材育成事業（重粒子線）に充当	2,000,000
合 計	2,000,000